

ダム事業の環境影響評価と保全の取組み

ネイチャーポジティブに向けたダム事業のあり方

ダム建設は、堤体の築造とそれに伴うダム湖の出現、付替道路の建設、原石山からの骨材採取等の地形改変を伴うため、さまざまな形で周辺の自然環境に影響を及ぼす可能性があります。

ダム建設により消失してしまう環境の創出，事業に係る河川流域の生態系への影響（生態系の定量評価），回避策，復元策（代償措置），ネイチャーポジティブの取組みについて，事例を交えてご紹介いただきます。

講演者 一般財団法人 水源地環境センター 研究第三部 次長 **大杉 奉功** 氏

コーディネータ 環境アセスメント学会 生態系研究部会
高橋 邦彦（株式会社風力エネルギー研究所）

日 程 2025年10月10日（金）

時 間 18：00～19:30（受付開始 17:30から）

会 場 日本大学理工学部駿河台校舎 1号館 2階 121会議室（裏面参照）

参 加 費 無料（非会員の方も参加可能）

開 催 方 式 会場およびTeamsによるハイブリッド形式

申 込 方 法 以下より会場またはオンライン参加の登録をお願いします。
（注意：両方の形式で参加される方は両方から登録してください。）

会場参加の方は[こちらから](#)

オンライン参加の方は[こちらから](#)

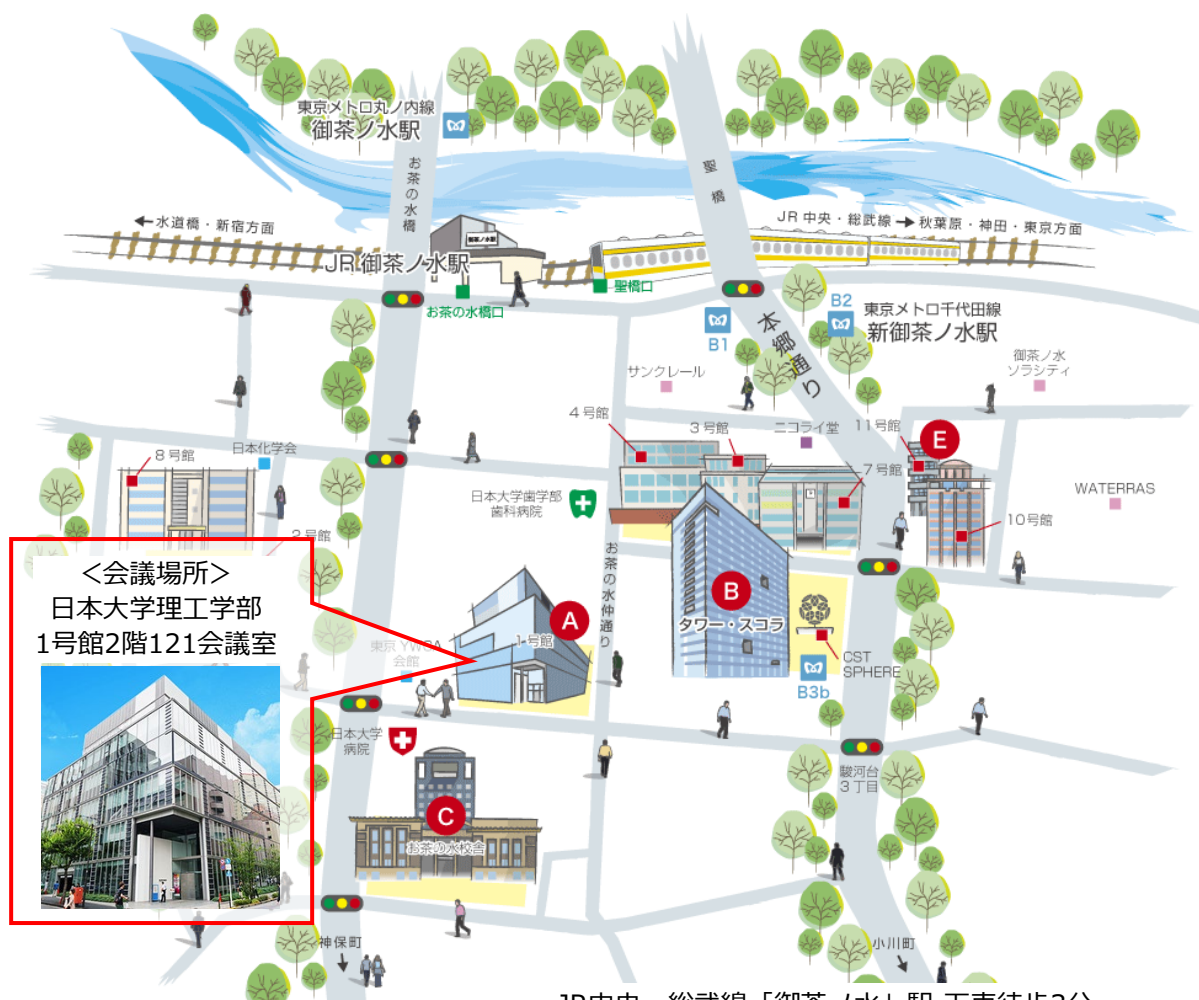
参 加 締 切 2025年10月5日（月）17:00まで

お問合せ先 高橋 邦彦（E-Mail：takahashi@windenergy.co.jp）

主 催：環境アセスメント学会 生態系研究部会

後 援：日本大学理工学部交通システム工学科交通環境研究室

日本大学理工学部駿河台校舎1号館2階121会議室



JR中央・総武線「御茶ノ水」駅 下車徒歩3分
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 下車徒歩3分
東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅 下車徒歩5分